

WWWサービス仕様

項目	2月28日までの仕様	新仕様	新仕様(訂正)
保存容量	20MByte	20MByte	20MByte
WWW Server	ew.sanuki.ne.jp	ew.sanuki.ne.jp	ew.sanuki.ne.jp
ネットワーク	IPv4	IPv4,IPv6	IPv4,IPv6
URL	http://ew.sanuki.ne.jp/アカウント名/	http://ew.sanuki.ne.jp/アカウント名/ (URLは、これまでと変更ありません)	http://ew.sanuki.ne.jp/アカウント名/ (URLは、これまでと変更ありません)
FTP ID	アカウント名	アカウント名@ew.sanuki.ne.jp ドメイン部分が必要になります。	アカウント名@ew.sanuki.ne.jp ドメイン部分が必要になります。
ユーザID (アカウント名)	①英小文字(a~z)、数字(0~)、ドット(.), ハイフン(-)の組み合わせ ②3文字以上8文字以内 ③アドレスの筆頭1文字は 英小文字のみ使用可 ④ユーザ名とパスワードを同じ文字列は不可 ⑤最後尾に記号を使用することは不可 ⑥同じ記号は連続して使用不可	①英小文字(a~z)、数字(0~)、ドット(.), ハイフン(-)の組み合わせ ②3文字以上8文字以内 ③アドレスの筆頭1文字は 英小文字のみ使用可 ④ユーザ名とパスワードを同じ文字列は不可 ⑤最後尾に記号を使用することは不可 ⑥同じ記号は連続して使用不可	①英小文字(a~z)、数字(0~)、ドット(.), ハイフン(-)の組み合わせ ②3文字以上8文字以内 ③アドレスの筆頭1文字は 英小文字のみ使用可 ④ユーザ名とパスワードを同じ文字列は不可 ⑤最後尾に記号を使用することは不可 ⑥同じ記号は連続して使用不可
パスワード	①英小文字(a~z)、数字(0~)、ドット(.), ハイフン(-)の組み合わせ ②文字数は6文字~16文字。 ③アドレスの筆頭1文字は 英小文字のみ使用可 ④ユーザ名とパスワードを同じ文字列は不可 ⑤最後尾に記号を使用することは不可 ⑥同じ記号は連続して使用不可	①英小文字(a~z)、数字(0~)、ドット(.), ハイフン(-)の組み合わせ ②文字数は6文字~16文字。 ③アドレスの筆頭1文字は 英小文字のみ使用可 ④ユーザ名とパスワードを同じ文字列は不可 ⑤最後尾に記号を使用することは不可 ⑥同じ記号は連続して使用不可	①英小文字(a~z)、数字(0~)、ドット(.), ハイフン(-)の組み合わせ ②文字数は6文字~16文字。 ③アドレスの筆頭1文字は 英小文字のみ使用可 ④ユーザ名とパスワードを同じ文字列は不可 ⑤最後尾に記号を使用することは不可 ⑥同じ記号は連続して使用不可
ファイル名	半角英小文字(a~z)、半角数字(0~9), 記号 ハイフン(-)、ドット(.) (注)先頭がハイフン(-)、ドット(.)は不可 (注)日本語は利用不可、大文字・小文字は区別	半角英小文字(a~z)、半角数字(0~9), 記号 ハイフン(-)、ドット(.) (注)先頭がハイフン(-)、ドット(.)は不可 (注)日本語は利用不可、大文字・小文字は区別	半角英小文字(a~z)、半角数字(0~9), 記号 ハイフン(-)、ドット(.) (注)先頭がハイフン(-)、ドット(.)は不可 (注)日本語は利用不可、大文字・小文字は区別
ファイル登録 ディレクトリ	初期フォルダ 指定しない CGIファイル /cgi-bin/ディレクトリ	初期フォルダ 指定しない CGIファイル /cgi-bin/ディレクトリ	初期フォルダ 指定しない CGIファイル /cgi-bin/ディレクトリ
FTPアクセス制限	SCN接続サービス以外からのアクセスは不可	アクセスフリー (クライアントPCのIPアドレスが DNS登録されていること) 不正なアクセスを防止するため、パスワードを複雑な ものに変更してご利用いただくことを推奨します。	アクセスフリー (クライアントPCのIPアドレスが DNS登録されていること) 不正なアクセスを防止するため、パスワードを複雑な ものに変更してご利用いただくことを推奨します。
パスワード変更	変更届け(市役所、各支所・出張所で変更可能)	変更届け(市役所、各支所・出張所で変更可能)	変更届け(市役所、各支所・出張所で変更可能)
CGI	・拡張子(cgi)のPerlスクリプトを /cgi-binディレクトリにアップし、 パーミッションを変更すれば利用できる ・Perlのバージョン 5、/usr/local/bin/perl ・sendmailは利用不可 ・アクセス制限及びログ収集がIPv4固有方式だと 正しく動作しない可能性があります。	・拡張子(cgi)のPerlスクリプトを /cgi-binディレクトリにアップし、 パーミッションを変更すれば利用できる ・Perlのバージョン 5、/usr/local/bin/perl ・sendmailは利用不可 ・アクセス制限及びログ収集がIPv4固有方式だと 正しく動作しない可能性があります。	・拡張子(cgi)のPerlスクリプトを /cgi-binディレクトリにアップし、 パーミッションを変更すれば利用できる ・Perlのバージョン 5、/usr/local/bin/perl ・sendmailは利用不可 ・アクセス制限及びログ収集がIPv4固有方式だと 正しく動作しない可能性があります。
CGIの パーミッション	・cgiプログラム 755 ・参照するだけのファイル 644 ・書込が必要なファイル 666 ・書込が必要なファイルがあるフォルダ 777 ・読み込みだけ必要なファイルのみのフォルダ 755	・cgiプログラム 500 ・参照するだけのファイル 400 ・書込が必要なファイル 600 ・書込が必要なファイルがあるフォルダ 700 ・読み込みだけ必要なファイルのみのフォルダ 500	・cgiプログラム 500 ・参照するだけのファイル (注1) 400 ・書込が必要なファイル (注2) 600 ・書込が必要なファイルがあるフォルダ 701 ・読み込みだけ必要なファイルのみのフォルダ 501 (注1) cgi-binフォルダの中にcgiプログラム以外の ファイルを保存している場合は、404にしてください。 (注2) cgi-binフォルダの中にcgiプログラム以外の ファイルを保存している場合は、604にしてください。
その他		・CGI利用時のセキュリティ強化を実施 ・IPv6対応を実施	・CGI利用時のセキュリティ強化を実施 ・IPv6対応を実施